

「山田小学校の棒踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	始良市立山田小学校
2. 学年・人数	4・5・6年生 37人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年9月～10月 山田小学校 校庭と体育館 計5回 (2) 発表の日時 令和6年10月13日 山田小学校運動会
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能、伝統 行事、伝統工芸 品について	(1) 名称 市指定無形民俗文化財 下名棒踊り（しもみょうぼうおどり） (2) 由来 薩摩藩主が農民の士気を鼓舞するために始めたという説や、薩摩独特の示現流の剣法を取り入れて舞踊化したという説、さらには伊勢神宮のお田植えの際に奉納される踊りを模倣したものという説もある。棒と棒を交差して打ち合わせるのは、悪霊や悪魔を退散させるための一種の呪法であるという考え方もある。 (3) 構成等 6人一組が3列縦隊となり、三尺棒のみの踊りと、棒と鎌を使った2種類の踊りが伝承されている。三尺棒を使った踊りは、二人やぐらから三人やぐらへと変化しながら打ち合う。
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	学校と棒踊り保存会が連携協力しながら棒踊りを継承していくために、学校も支援している。また、地域行事である「山田の里かかし祭り」や「山田の里鬼火焚き」でも、踊り希望者が披露している。
6. 取組の様子 （練習状況、発 表の場等）	 運動会で披露
7. 感想・意見 （参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等）	【児童】 - 自分の住んでいる市の下名棒踊りを踊ることができてよかった。 【教員】 - 練習の日程調整が大変だが、地域の伝統を継承していこうと子供たちががんばっている姿は誇らしい。